



# 優秀賞

(居室部門)

タイトル

想いをつなぐ夏障子

タイプ

持家共同建

講評

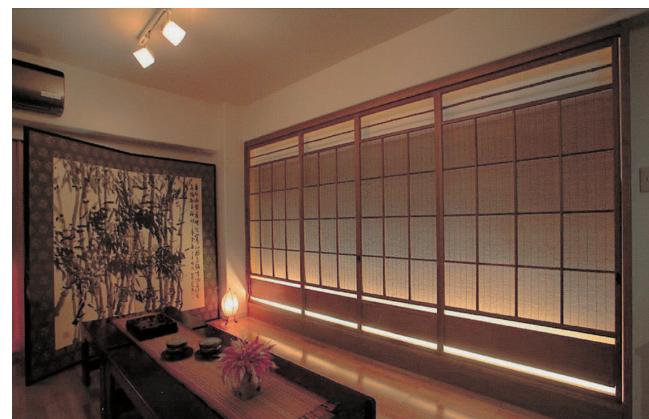
「ご主人の思い出のある夏障子を新居のマンションで生かしたい」という思いを、最大限に汲み取った住居となった。人生を締めくくるためのリフォームの要望は増加傾向だが、真のCS（顧客満足）の観点が求められてくる。

リフォーム前後の写真



**After**

戸建からマンションへ、思い出も一緒に住み替え。  
終の棲家は、お気に入りのものたちに囲まれて…。



今では、新規に作成するのが困難な葦の夏障子。亡きご主人こだわりの建具を①リビングの壁面間接照明として生かした。20枚ほどあった障子の残りは、古民家材料店に引き取ってもらい、有効活用してもらうことに。

障子の隙間から光が漏れ、かつ、②照明器具が見えないように工夫した。



ご主人との思い出の品々に囲まれたリビング。梁下にぴったりと納まるように枠を組み立てて夏障子を入れ、③雰囲気のあるデザイン壁とした。

## リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想など

### 《リフォームの動機・要望》

1. ご主人が亡くなられて一人暮らしとなるため、また高齢にもなるため、戸建から維持管理のらくなマンションへ住み替えたい。
2. 亡きご主人がこだわって選んだ旧居の材料、葦の夏障子を生かしたい。

### 2. ご主人の思い出の夏障子は、将来息子さんに障子として引き継げるよう、そのままの形で使用。加工しないで済むように

- 間仕切りとしてではなく、間接照明のデザインアイテムとして活用した。リビングの壁面一面に新規の枠を立て、枠を加工することで梁下に納まるよう調整。内部に蛍光灯を組み込んだ。

### 《リフォームのポイント》

1. 3LDKのマンションの間取りを変更し、2LDKへ。これからのためバリアフリーを基本に、ひろびろとした空間をつくった。
3. 新規の床と夏障子、新しい枠と夏障子の色合いを合わせ、周囲の調度との色合いや質感とも合わせて、年月を経た夏障子が新たな空間に馴染む工夫をした。

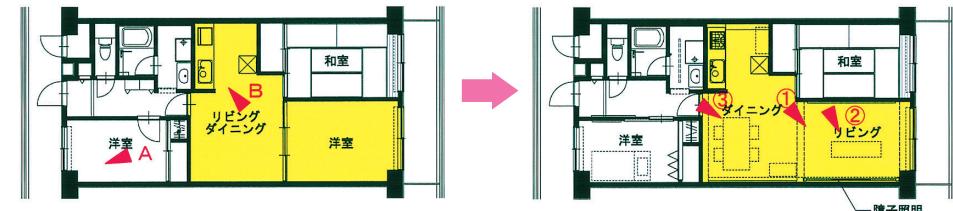
特に配慮した住宅性能：古材再生 資源有効活用

### データ

所在地	千葉県野田市	構造／築後年数	鉄筋コンクリート 造／ 20 年
該当工事面積	30.0 m <sup>2</sup> ／総工事床面積 64.4 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	150 万円／総工事費 464 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 1 人／65歳以上： 人／15歳未満： 人／ペット：		
設計会社	(株)東急ホームズ	担当者	馬場 照泰
施工会社	同上	担当者	同上

## リフォーム前

## リフォーム後



S=1 : 175